

# サクランボ特報 NO.5

JA 中野市営農センター  
JA 中野市サクランボ部会

この特報No.5は、5/17発行の「サクランボ特報No.4」の晩生種の防除を再掲しています。収穫期間が長引く事が予想されますので、期間が長引く園地は必ず晩生種（6月中旬）の散布し7月（収穫後）の防除を行ってください。尚、裏面に7月の防除（収穫後の防除）について記載しています。

収穫終了後は、園内を再度見回り樹冠の明るさを確保（夏季剪定及び秋季の誘引等）し、次年度の花芽と樹体の充実を図りましょう。併せて、樹体を健全に保つために速やかに追肥を実施してください。また、梅雨明け以降は、気温の上昇とともにハダニ類の発生密度が高まります。薬剤散布は間隔を空けすぎずに実施しましょう。

雨除けハウスにおいては、次年度の花芽充実・双子果対策として

- ① **収穫終了後すみやかに被覆を除去** ② **定期的に灌水** を実施して下さい。

## 1. 薬剤散布

\*隣接園（特に収穫期の作物）に飛散しないように注意して下さい。

### 晩生種（**紅秀峰、紅きらり**等の最終防除）

※収穫が長引く事が予想されます。  
収穫期間が長引く園地は必ず散布してください。

散布日	6月	日
散布量		リットル

\*散布時期 **6月中旬**（散布日の目安：6月14日～20日）

\*第5回 定期散布から14日後

※特報No.4 再掲

\*散布薬剤 水 100ℓ当り

オーシャインフロアブル 33ml （収穫前日まで、5回以内）

コルト顆粒水和剤 10g （収穫前日まで、3回以内）

（ベストⅡ（葉面散布資材） 200g）

\*ベストⅡは、日持ち性向上を目的とした液肥です。

\*散布量 10㎡当り 500ℓ

\*混用順 水 ⇒ オーシャインフロアブル ⇒ コルト顆粒水和剤

\*対象病害虫 灰星病、幼果菌核病、褐色せん孔病、オウトウショウジョウバエ

\*注意事項 展着剤は加用しない

次頁もご覧ください。（7月の散布）

## 収穫終了後の散布（7月上～中旬）

散布薬剤	：水100ℓ当り		・散布日 7月 日・散布量 ℓ
展着剤		10mℓ	
コロマイト乳剤		100mℓ	（収穫7日前まで、1回以内）
トレノックスフロアブル		200mℓ	（収穫21日前まで、5回以内）
劇剤 スプラサイド水和剤		66g	（収穫7日前まで、3回以内）
*対象病害虫	：ハダニ類、褐色せん孔病、カイガラムシ類、シヨウジョウバエ類、カメムシ類（ケムシ類）		
*散布量	：10a当り 600ℓ以上		
*注意事項	<p>・トレノックスフロアブルに代えて、キンセット水和剤80の1000倍（収穫後～落葉期、3回）でもよい。キンセット水和剤80は、葉が軟弱な状態での散布は薬害（葉のせん孔等）を生じる場合がある。薬害が心配される場合はクレフノン100倍を加用する。</p>		

劇物をご購入の際は、印鑑をご持参ください

## 7月下旬（上記散布から14日後）

散布薬剤	：水100ℓ当り		・散布日 7月 日・散布量 ℓ
展着剤		10mℓ	
ダニゲッターフロアブル		50mℓ	（収穫前日まで、1回以内）
オキシラン水和剤		166g	（収穫後～落葉期まで、3回以内）
サイアノックス水和剤		100g	（収穫14日前まで、2回以内）
*対象病害虫	：ハダニ類、せん孔病、ケムシ類（ハマキムシ類）		
*散布量	：10a当り 600ℓ以上		
*注意事項	<p>・ダニゲッターフロアブルは「シャインマスカット」や「開花期の水稻」に薬害を生じるので、飛散しないよう注意する。</p>		

## 2. 礼肥（10a当り 目安） 施肥時期：収穫終了後～7月末

天然ボカシ5袋 \*樹勢が弱い場合は、さらに追肥グリーン2号を1袋施用する。